

講義名	経営戦略論B				授業形態	
担当教員	青木 良三	開講期・曜日・時間		後期 金曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生	ナンバリング
主題と概要						
・本講義の主題は、経営戦略論を学習するものにとって当然知っておくべき基本的知識を解説することにあります。理論のみならずケースも紹介しますので、実際のビジネス界の出来事も学習できる内容になっています。 ・本講義では、経営戦略論のうち企業（全社）戦略について解説します。 ・なお、事業（競争）戦略と機能別戦略については、経営戦略論Aで行います。 ・本講義のレベルは、入門書レベルに一部中級レベルの話が加わります。経営戦略論Aよりは講義内容はむずかしいと思います。						
到達目標						
①学生は、本講義を受講することによって、経営戦略に関する理論を理解できるようになります。 ②学生は、それらの理論を使って、企業経営を分析できるようになります。 ③学生は、企業経営の仕組み、とくに経営戦略を、理論に基づき、自ら考え、理解することができるようになります。						
提出課題						
・提出課題はありません。 ・コピペが多いため、レポートは任意とします。自分で調べて、レポートにまとめたもののみ成績評価に反映させます。 ・授業内容を踏まえ、自身でレポートのテーマを設定してください。それがむずかしい場合は、授業の際やeメールで問い合わせてください。アドバイスします。						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
・授業の際にフィードバックします。個別の問い合わせは、eメールでお願いします。						
評価の基準						
・成績評価は、期末テストによって行います。 ・ただし、新型コロナウイルス感染症の状況により、オンデマンド型に変更された場合は、毎回課題レポートの提出を求めます。提出された課題レポートを評価し、その合計点で成績評価します。						
履修にあたっての注意・助言他						
・対面授業になった場合 期末にレポート試験を行います。授業中に話したことや板書した事柄、授業中に配布した資料から出題します。授業の欠席が多いと、試験で得点するのがむずかしくなるので気をつけてください。 ・オンデマンド授業の場合 毎回提出されるレポートで評価しますから、提出回数が少ないと単位取得がむずかしくなります。10 回以上課題レポートの提出がないと、成績評価の対象から外れます。						
教科書						
・教科書は使用しません。・						
参考図書						
・マネジメント・		経営能力開発センター	中央経済社	2640	9784502124310	

その他			
・資料は、RYUKA Portal から配布します。			
授業計画			
1.経営戦略の体系 2.経営理念、ビジョン、ミッション 3.ケーススタディ パナソニック、ソニー、ホンダ 4.事業の定義と企業ドメイン 5.ケーススタディ 富士フイルム 6.アンソフの製品－市場マトリックス 7.ケーススタディ プリヂストンの市場開発戦略 8.ケーススタディ キヤノンの多角化戦略 9.M&A戦略 10.グローバル戦略 11.ケーススタディ コカ・コーラ、P & G 12.経営戦略の構定プロセス 13.外部環境分析（機会と脅威の発見）と内部環境分析（強みと弱みの認知） 14.SWOT分析 15.ケーススタディ ファーストリテイリング（ユニクロ）			
授業形態（アクティブ・ラーニング）			
☐ ア：PBL（課題解決型学習）		☐ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間			
・予習について、テキストはありませんが、参考文献やシラバスに記載した企業に関する雑誌記事、新聞記事を読んでおいてください。 ・復習は、配布した資料を読んで、出てくる経営学の用語の意味をしっかり理解し、使えるまで学習してください。 ・予習に2時間、復習に2時間が目安になります。			
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連			
・本授業を履修することにより、経営理論や事例を理解することで、情報収集力、情報分析力、課題発見力、課題解決に向けた構想力といった能力を身につけることができます。			
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述			
・レスポンスを使う場合は、事前に講義連絡します。			
実務経験の有無及び活用			
・実務経験あり。1979年から1997年まで銀行に勤務。産業調査や融資、ファンド運用を担当しました。授業で取り上げる企業の事例について、企業分析の実務経験を踏まえたコメントができます。新聞記事とは違ったコメントができると思います。			
備考			